

日本障がい者体育・スポーツ研究会会員の皆様

秋涼とは名ばかりの残暑厳しい折ですが、お元気でしょうか。

例年は、梅、桜、新緑、梅雨、せみ時雨と自然と季節を感じながら歩んできましたが、今年は、地球規模のコロナ禍の中で、この8ヶ月ゆったりと自然と季節を感じる余裕もなく、時が経つのが早く感じます。

当たり前が当たり前でなくなり生活様式が一変した人も多いのではないのでしょうか。このような新型コロナウイルスにより日常生活が平和でなくなり、人と人とのコミュニケーションや笑顔も少なくなり、三密を回避するために、今まで当たり前のように開催していたイベント等も中止に追い込まれ、2020 東京オリンピック・パラリンピックも一年延期になりました。4年に一度の世界最高峰のスポーツの祭典に目標を置きトレーニングを積んできた選手や運営関係者にとっては大きな難題だったことと察します。

さて、このように社会がコロナ禍の中では、今年度の研究発表会は、例年通り開催できないと考え、理事の方々のご意見を聴きながら、事務局で意見をまとめていただきました。

その結果、43年の歴史があり、継続は力なりと言うことも考え、理事の方々の意見を参考に中止ではなく、出来る方法を考え、別紙要項で実施する運びとなりました。ご理解、ご協力いただき、多くの会員の皆様に研究紀要へのご投稿での参加をお願いします。

最後になりましたが、コロナウイルスと最前線で向き合い収束にご尽力いただいています医療従事者の皆様や関係者の皆様に敬意を表し、一時でも早く収束に向かい平常の生活が戻ることを願い、皆様の健康とご多幸を祈念しています。

2020年9月

日本障がい者体育・スポーツ研究会

理事長 高橋 明